

市民が語る都留市の健康

Ⅺ

在宅介護している現場から

今回は、在宅で寝たきり老人を介護している介護者の皆さんより現場での生の声をお聞きました。

☆寝たきり老人の現状

○ 夫は一日中寝たきりで、尿が出ないので管を尿道に入れたままになっていきます。週に一回膀胱洗浄をするため、器具の消毒や洗浄液を病院へ取りに行っています。また、入浴サービスを

利用し部屋で寝たまま入れてもらっています。

○ 夫は病気のため立つことが出来ません。ベッドと車椅子の生活です。室内はずって移動します。

○ 姑は寝たきりです。足の関節がたかくなっているため、オムツ交換で足を開く時は痛みがひどく私の手に爪を立てることもあります。腰には寝

元気なときはもちろん、病気になることも自分でできることは自分です。たとえ、家族であっても甘えないで、自分でできることを見つける。

84歳になっても、

夫婦2人で子供たちに助けられながらも、家で仲良く暮らせることは、

幸せなこと、

これ以上 何も望まない。

妻が元気であつてのわしだから。

(車椅子生活をしている男性 84歳)



へ連れて行き、その度に点滴を受けました。入院も希望しませんがまだまだ入院するほどではないとのこと。しかし、点滴が必要なので毎日通院しなければなりません。点滴をしていると福祉施設も利用できず、家で看るのも不安がいっぱいです。

☆介護していて困ったこと、辛かったこと

○ 痴呆があつたため目が離せず少しの間でも見てくれる人がいない時は本当に困りました。

○ ひとりで看ていると、悪化した時に見逃し、手遅れになるのが心配です。

○ 何よりも通院が大変です。車椅子から自動車へ、自動車から

車椅子へと、抱きかかえて移します。

○ ヘルパーさんは休日には利用できないので、結局友人にお願いしたこともあり

○ 私も高齢、これから二人で年若い

がとて不安です。「いつまで介護できるだろう。できなくなったらどうしよう」と思うこともあります。

ねたきり老人数 90人

利用している在宅保健福祉サービス

・入浴サービス	45人
・ヘルパー派遣	66人
・日常生活用具貸与事業	
ベッド	63人
エアーマット	27人
車椅子	42人
・保健婦による訪問指導	65人
・訪問看護婦による訪問看護	32人

(平成7年12月1日現在)

それまでは頑張ろう、このくり返しで毎日介護しています。

☆寝たきりになつても、こんな街なら安心できる！

◎困った時にいつでも往診してもらえる街

◎訪問看護婦さんが毎日のように来てくれる街

◎寝たきりでも安心して通院できる街

◎近所の人々が私たち介護者を理解してくれる街

市内にはまだ多くの悩みを持った方々が、日々介護に専念していらっしゃる。寝たきりになつても安心して暮らせる街づくりのため、市民の皆さんの声をどんどんお聞かせください。

問合せ先 保健環境課 健康管理係